

## 2014年産カリフォルニア・アーモンド第一次収穫予想



カリフォルニア現地時間の5月1日に、カリフォルニア・アーモンドの第一次収穫予想が発表されました。

- 予想収穫量 19億5千万ポンド(参考:2013年産の収穫量 20億3千万ポンド/3月末現在)
- 予想収穫面積 86万エーカー(参考:2013年産収穫面積 84万エーカー)
- 予想単収 2,270ポンド/エーカー(参考:2013年産の単収 2,385ポンド/エーカー)

2013年産の総収穫量は、3月末の実績で20億3千万ポンドとなっていますので、前年比で2.5%の減産予想になります。

また、1エーカー当たりの単収は前年比で4.8%減少し、2,270ポンドになる予想です。

なお、第一次予想(Subjective estimate)は、4月15日～29日に実施された生産者に対する電話での聞き取り調査をベースに算出されています。農園での立ち入り調査結果によって算出される、より信頼性の高い最終収穫予想(Objective estimate)は、6月30日に発表される予定です。

現地相場の動向ですが、開花前後の絶妙なタイミングでの降雨による“一時的な”早魃状況の緩和と、開花期間中の安定した天候により、新物供給量に対する逼迫感が和らいだ事から、3月～4月は弱気みとなっていました。このような中、業界内では前年並みの20億ポンド程度を見込んでおり、一次予想の発表内容もそれに近いものとなりました。数字上は前年比でやや減産に値する事から、発表後は小幅な値上りの動きを見せ、また5月9日に発表された4月末締めのアーモンドポジションレポートによって、引続き出荷が好調ある状況が明らかとなった事から、再び現地側は強気になりつつあります。

ここ最近の各国バイヤーの動きとしては、中国からの引き合いが落ち着いており、5月13～15日に上海で開催された大規模な食品展示会「SIAL」でも、バイヤーの興味は新物の作柄情報に注がれ、成約はあまり進んでいないようです。一方で、今期はヨーロッパ各国の需要が回復し、第一次収穫予想以降も引き合いが増加している状況から、5月20～22日にオーストラリアのメルボルンで開催されるINC(世界ナッツ会議)でのヨーロッパバイヤーの動きには注意が必要です。

カリフォルニアアーモンドの収穫予想と生産実績、出荷実績推移  
(単位:百万ポンド)

